

一 般 質 問 通 告 表

平成28年第1回始良市議会定例会（3月14日（月） 午前10時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 堀 広子	1. 市長の政治姿勢について	<p>(1) 日本の相対的貧困率は、全世帯で16.1パーセント子どもがいる世帯で16.3パーセント（2012年）と報告されている。一人親家庭の貧困率は54.6パーセントと深刻である。</p> <p>このような中、消費税率の引き上げは貧困を加速させることになるが、どのように考えるか。</p> <p>(2) 2016年度の予算で、始良市独自の貧困対策はどのように議論され、予算化されているか。</p>	市 長
	2. 国保問題について	<p>始良市の2014年度国民健康保険税の決算収支額は、県内19市のなかで最も高く、約6億2,200万円となっている。</p> <p>国保税の引き下げで、市民負担の軽減をはかれないか。</p>	市 長
	3. 子どもの医療費について	<p>厚労省は子どもの医療費助成制度に地方創生関連の交付金を利用する場合、各自治体にペナルティ（国庫負担金の減額）は適用外と通知している。</p> <p>子育て支援策として、子ども医療費の無料化に独自の施策として実現できるのではないか。</p>	市 長
	4. 認可外保育所について	<p>認可外保育所は、児童福祉法に規定された施設である。待機児童の減少対策としての役割も大きい。現在、保護者に年1人1万円を支援しているが、運営はとても厳しい。安心して子育てができる環境を整備するため、運営費などの補助はできないか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2. 谷口 義文	<p data-bbox="395 226 692 304">1. 公職選挙法改正について</p> <p data-bbox="395 1182 692 1261">2. 合併後の取組みについて</p>	<p data-bbox="718 226 1283 640">政府は、国政や地方選挙の投票日に学校や公民館など選挙管理委員会が指定した1か所でしか投票できない方法から、現在の投票所に加え、居住する有権者なら誰でも投票できる「共通投票所」（各投票所とオンラインシステムで結び情報共有を図る）の設置を可能とする公職選挙法改正を近く国会に提出する方針を固めた。</p> <p data-bbox="718 651 1283 1122">指定された投票所のほか、駅やショッピングセンターなどで投票できるようになれば、買い物途中や病院の行き帰り、ちょっとした外出、また仕事帰りといった足での投票が可能となり、有権者にとっては利便性が高い投票所を選択できることにより、投票環境と投票率が向上されると思うが、本市の公職選挙法改正についての考え方を問う。</p> <p data-bbox="718 1182 1283 1312">蒲生町、始良町、加治木町の3町が合併し、新生「始良市」が誕生し、早6年が経過した。</p> <p data-bbox="718 1323 1283 1693">その間、市長は2期目の当選を果たし、もうすでに折り返しの時期に来ている。「県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり」を基本理念とし、それを実現するための施策も着々と一定の成果を見せ始めており、首長として評価に値するものと考え</p> <p data-bbox="718 1704 1283 1839">旧3町に於いては、それぞれ「格差のない平等なまちづくり」がなされたと思うが、どのように検証するか。</p> <p data-bbox="718 1850 1283 2018">また、6年間を振り返り、現状の課題と今後のまちのあり方、まちづくり、取り組み方について、以下の項目について問う。</p>	<p data-bbox="1308 226 1465 304">選挙管理委員長</p> <p data-bbox="1308 1182 1465 1216">市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(1) 合併して6年が経過しているが、合併して良かったと感じている市民もいれば、そうとは思っていない市民もいる。3町の枠を超えて「始良市民」としての一体化は進んでいると思うが、市長は現状をどう分析し、捉えているか。</p> <p>(2) 始良公民館、松原なぎさ小学校、給食室別棟、消防署と一定の目途はついた。</p> <p>老朽化している本庁舎及び蒲生総合支所、加治木総合支所も含めて今後の建て替えの計画を示せ。</p> <p>(3) 今後、周辺環境の変化もあり、本庁舎への来庁者もますます増加していくものと思われる。今以上の駐車場確保をどう考えるか。</p> <p>(4) 合併後6年が経過したが、働く職員は環境変化に対応した意識改革が進んでいるのか。また、異動の配置は適正か。</p> <p>(5) イオンタウン開業でまちの流れが大きく変化していく中で、環境整備をどう進めていくのか。また、既存の商店（街）等に対する今後の対策は。</p> <p>(6) 市商工会、観光協会の役割も一段と大きくなると思われる。更なる連携が必要と考えるがどうか。</p> <p>(7) 合併して、建設業者に格差が生じ、以前（合併前）より仕事量が激減したとの声を聞くが、要因は、手立てはあるのか。</p> <p>(8) 近年、本市では田畑が数多く造成され、宅地分譲、アパート、マンションが頻繁に建設されつつあるが、短期間の入居が多いと聞く。要因は、対策があるか。</p>	

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>また、転入時の健康保険加入、自治会加入の状況と対策は。</p> <p>(9) 限界集落はもはや中山間地域だけの問題ではなく、都市部にまで広がりつつある。高齢者世帯が年々、増えていく中で、見守り、介護の問題は今後の大きな課題である。行政だけでは無理な面も地域、家族で支え合う体制づくりも必要と思われる。核家族化している現状を打破し、親と同居する二世帯、三世帯の子や孫と一緒に暮らし、支え合う施策(住宅の増改築等の支援、同居者による介護支援)等も必要かと思うがどう考えるか。</p> <p>(10) 店のない中山間地域に於ける買い物のできない高齢者、身体の不自由な高齢者(買い物難民)からの声も多い移動販売車等に対して補助も含めて何か対策はないか。</p> <p>(11) 人口8万人に向かっての形づくりは整いつつあるが、市民が真に求めているものは形もそうだが、心の癒し、安らぎであり、健康であることが第一の幸福度と考える。憩いの場としての公園等の整備、心身の健康づくりに必要なスポーツ施設等の整備が必要と思うが、どう考えるか。</p>	